



再生 PET ボトルの対象が拡大。おいしさと持続可能な社会の両立へ

市販用ドレッシング類の 180ml サイズ全 25 品に 再生 PET 樹脂を 30% 含むボトルを採用

2024年7月上旬の製造分から順次切り替え予定

キューピー株式会社

キューピー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員：高宮満、以下キューピー）は、180ml サイズの市販用ドレッシング類^{※1}全 25 品について、再生 PET 樹脂^{※2}を 30% 含むボトルを採用し、7 月上旬の製造分から順次切り替えます。これにより、年間で新たなプラスチック使用量を約 430 トン削減、CO2 排出量を約 380 トン削減できる見込みです（前年出荷実績に基づく当社試算）。

※1 ドレッシングおよびノンオイル等のドレッシングタイプ調味料

※2 主に清涼飲料水用のペットボトルを回収し、粉碎・洗浄後、高温下で一定時間処理し、汚れを除去する方法「メカニカルリサイクル（物理的再生法）」で再生した PET 樹脂。



対象商品の一部

対象商品が拡大。市販用ドレッシング類の半数以上が再生 PET 樹脂を含むボトルに

近年、飲料では再生 PET 樹脂を使用したボトル（以下、再生 PET ボトル）の利用が広がっています。キューピーでは、飲料に比べて油や酢など幅広い原材料を含む調味料でも安全に再生 PET ボトルを使用するため、食品 4 社での共同研究や^{※3※4}、独自の検証を重ねてきました。そして 2021 年 6 月にテイステイドレッシングシリーズで再生 PET30% ボトルを採用し^{※5}、2023 年 8 月にはテイステイドレッシングと機能性表示食品ドレッシングの全品に再生 PET100% ボトルの採用を実現しました^{※6}。

今回は対象商品を拡大し、市販用ドレッシング類の主力サイズである 180ml の全 25 品に再生 PET30% ボトルを採用します。ボトルの切り替え後から、順次パッケージに独自の eco ラベル^{※12}を付与し^{※7}、環境に配慮した容器であることをお客さまへ分かりやすく訴求していきます。



回収されたペットボトル



フレーク化



洗浄などを経て
ボトルの原料へ



再生プラスチックを
100% 使用したボトルに



パッケージに付与する
独自 eco ラベル

キューピーは、サステナビリティ目標に「2030年度にプラスチック排出量削減率30%以上（2018年度比）」を掲げています。今回、ドレッシングの主力である180mlサイズへの再生PET30%ボトルの採用は、その達成に向けた大きな前進であり、今後さらに展開していきます。将来的には油を使用した商品のPETボトルが資源循環できる社会を目指し、今年5月には日清オイリオグループ株式会社と企業の枠を越えた協働も開始しました^{※8}^{※9}。今後も持続可能な社会の実現に向けた取り組みを加速し、循環型社会の構築に貢献していきます。

サステナビリティサイト「プラスチックの削減・再利用」

<https://www.kewpie.com/sustainability/eco/plastic/>

【参考】キューピー ドレッシングにおけるプラスチック削減や再利用の主な取り組み

- 2020年2月 キューピー ドレッシング スティックタイプ（現在は終売）の外装に再生プラスチックを約15%使用^{※10}
- 2021年6月 キューピー テイスティドレッシング全品に再生PET樹脂を約30%含むボトルを採用^{※5}
- 2023年8月 国内調味料で初めて^{※11}、100%再生PET樹脂ボトルをキューピー テイスティドレッシングと機能性表示食品ドレッシングの全品に採用^{※6}
- 2024年5月 使用済み油付きPETボトルの資源循環に向けてキューピーと日清オイリオグループが協働を開始^{※8}。千葉市内の「イオン」「イオンスタイル」8店舗にて回収の実証実験をスタート^{※9}

※3 [食品4社で調味料・食用油用リサイクルペットボトルの安全性評価（2022年5月_共同リリース）](#)

※4 [調味料・食用油用リサイクルペットボトルの安全性評価に関する研究で論文賞受賞（2023年6月_共同リリース）](#)

※5 [キューピーアヲハタニュース 2021年 No. 56](#) 参照

※6 [キューピーアヲハタニュース 2023年 No. 51](#) 参照

※7 [キューピーアヲハタニュース 2024年 No. 13](#) 参照

※8 [キューピーアヲハタニュース 2024年 No. 38](#) 参照

※9 [キューピーアヲハタニュース 2024年 No. 39](#) 参照

※10 [キューピーアヲハタニュース 2020年 No. 32](#) 参照

※11 2023年7月リリース当時。キューピー調べ。2023年6月、日本国内に流通する調味料として

※12 【訂正前】ecoマーク 【訂正後】ecoラベル（訂正日：2024年7月31日）